ACPシートを書く時の参考情報

口から食事ができないときの延命処置

- **点滴による水分補給**
  末梢静脈などから点滴をして水分補給しますが、十分な栄養補給はできません。
- **点滴による栄養補給**
  中心静脈栄養と呼ばれるカテーテルから高カロリー輸液を入れる栄養法で、十分な栄養補給を継続して行えますが、出血や感染症を起こす可能性もあります。
- **経鼻胃管による栄養補給**
  鼻から管を入れ、流動食などを補給しますが、誤嚥性肺炎のリスクもあります。
- **胃ろうによる栄養補給**
  手術で腹部に小さな穴を開け、チューブを通し胃に直接栄養を補給します。

心臓や呼吸が止まったときの延命処置

- **心肺停止時の心肺蘇生**
  心肺停止の際には、心臓マッサージや人工呼吸による心肺蘇生が行われますが、本人にとって苦痛を伴う場合や、開始すると中止が難しい場合もあります。
- **心臓マッサージ**
  胸部圧迫して心臓から血液を送り出す方法です。けいれんした心臓のリズムを戻すためにAEDによる電気ショックを一緒に行うこともあります。
- **人工呼吸**
  自分での呼吸が不十分な際に行う呼吸の補助で、マスクを装着する方法や気管内にチューブを入れて機械的な呼吸を行う方法などがあります。



不安や迷いも、
あなたの大切な「思い」のひとつです。

気持ちは変わっていくこともありますので、その都度ACPシートの内容も書き換えていきましょう。

大切なのは「正解」を出すことではなく、あなたの気持ちを家族や信頼できる人と共有しておくことです。

ご家族や支援者の方へ

本シートには医療や介護に関するご本人の希望が記載されています。大切に保管してください。
また、ご本人が意思決定や意思表明ができなくなった時は、本シートの中身を確認してください。

自分の想いや大切な情報を残したい場合は、
港区版エンディングノートもぜひご活用ください！

ノートの中にACPシートのページも含まれています。

詳細はこちら



問合せ

ACPについて	港区 保健福祉支援部 保健福祉課 保健福祉総合調整係 ☎03-3578-2328
ACPシートの書き方について	終活相談窓口（港区社会福祉協議会内）☎03-6230-0283

港区

アドバンス・ケア・プランニング ACPシート

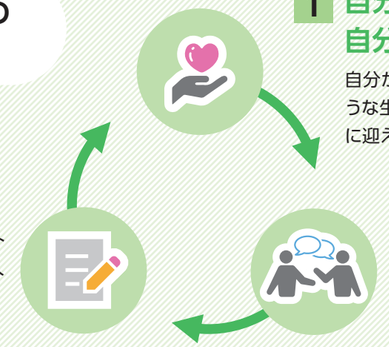


01 ACP（人生会議）とは

最期まで自分らしく暮らすために、自分が希望する医療や介護をどのように受けたいか、ご家族や、医療や介護の担当者とあらかじめ話し合い、共有する取組を**アドバンス・ケア・プランニング（ACP）**といいます。
愛称は「**人生会議**」です。

体調や環境の変化により、希望する医療や介護も変わるため、繰り返し話し合うことが大切です。今後の人生をどのように過ごし、どのような医療や介護を受けたいのか話し合い、自分の意思をきちんと伝えておきましょう。

ACP（人生会議）のイメージ



1 自分が大切にしていること、自分の希望を考えてみる
自分が大切にしていることは何か、今後どのような生き方をしたいか、人生の最期をどのように迎えたいかなどの自分の希望を考えてみる。

2 信頼できる人と話し合う
考えた内容を、信頼できる家族や医療・介護の関係者と話し合う。

3 書いて共有する
話し合ったことをACPシートなどに書いて信頼できる人達と共有する。

02 ACPシートの使い方



まずは書いてみる

自分で考えた内容や、家族などと話し合った考えを書いて残しておきましょう。



共有する
書き留めた内容を、家族や支援者（主治医、訪問看護師、ケアマネジャー等）と共有しましょう。

保管する
救急医療情報キットに入れて保管すると、救急搬送時に見つけてもらいやすくなります。

救急医療情報キットについて
詳しくはこちらから

ACPシート

記入日　年　月　日　更新日　年　月　日
年　月　日

生きていくうえで大切にしたいこと

●今後生きていくうえで大切にしたいことを考えてみましょう。

□好きなことができること　□身の回りのことが自分でできること
□家族や大切な人との時間　□仕事や社会的な役割が続けられること
□家族の負担にならないこと　□痛みや苦しみがないこと
□その他（　　）

判断能力が低下したときの希望

□自分で意思決定や意思表明ができなくなった場合は、今後のことについて下記の人から意見を聞いてほしい

氏名		続柄		連絡先	
氏名		続柄		連絡先	
氏名		続柄		連絡先	
氏名		続柄		連絡先	

□任意後見契約をしている
（受任者：　　電話番号：　　関係：　　）
□港区社会福祉協議会の福祉サービス利用援助事業を　（　利用している　・　利用したい　）
□成年後見制度を利用したい

介護や医療が必要になったときの希望

●介護が必要になったときの希望

□なるべく自宅で過ごしたい　□施設や病院に入所・入院したい
□家族・親族などの判断にまかせたい　□その他（　　）

●介護してくれる人に伝えたいこと

●終末期に過ごしたい場所

□自宅　□施設　□病院　□その他（　　）

港区

私のリビング・ウィル（事前指示書）

私は、病気や事故などにより、意思表示や決定ができず、判断能力などの**回復が見込めない状態となった場合、**延命処置について以下のとおりの内容を希望します。

□できる限りの延命処置を希望する
□以下の選択した延命処置を希望する
（延命処置の詳細については、裏面の〈ACPシートを書く時の参考情報〉をご覧ください）

● 口から食事が出来ないとき

・末梢静脈からの点滴（水分補給が中心）　□希望する　□希望しない
・中心静脈栄養（カテーテルからの高カロリー輸液）　□希望する　□希望しない
・経鼻胃管による栄養補給　□希望する　□希望しない
・胃ろうによる栄養補給　□希望する　□希望しない

●心臓が止まったとき

・心臓マッサージ（胸部圧迫）　□希望する　□希望しない
・AED（電気ショック）の使用　□希望する　□希望しない

●呼吸が止まったとき

・マスク／バッグを使った手動による呼吸補助　□希望する　□希望しない
・気管挿管や気管切開をした人工呼吸器の使用　□希望する　□希望しない

□延命処置は希望しない
□痛みや苦痛はできるだけ抑えてほしい
□ある程度痛みがあっても、できるだけ自然な状態で過ごしたい

●その他の希望

記　入　日　　年　　月　　日（　　）
本人署名
同席者署名（親族など）　　（続柄　　）

※記入と署名が済んだ「リビング・ウィル」を含むACPシートはコピーして、家族や親族、かかりつけ医などに渡して共有したり、もしもに備え救急医療情報キットに入れておきましょう。
※同席者はリビング・ウィル記載時に同席した方です。同席者がいる場合にのみ記入してください。
※ ACPシートは公的効力を持つものではありません。

港区

40499_港区ACPシート